

福岡市 給食メニュー改善へ **唐揚げ 1 個に批判**



福岡市は、市立小中学校の給食メニューに関し、有識者による検討組織の設置も含め改善策を協議する方針を決めた。

市教育委員会が 12 日、明らかにした。物価高騰で食材費が値上がりする中、主菜が鶏の唐揚げ 1 個だけとなっている市立小の給食写真が、SNS上で批判を浴びていた。

市教委によると、批判が出た給食は 4 月に提供。お皿の真ん中に唐揚げが 1 個あるほか、ごはん、みそ汁、牛乳 1 パックのメニューに対し、SNS上で「唐揚げ増やせ」「もっと量を出せ」などの批判があった。

市教委担当者は「貧相に見えてしまった。見せ方も大事だった」と話した。カロリーと栄養バランスの基準は満たしていたという。改善策の協議では、見栄えのほか、地元産食材の活用も探る。市はⅡ学期から市立小などの給食費を無償化する。